

珠洲市オーガニックビレッジ協議会（石川県珠洲市）

R4補正
R5当初

73

背景・課題

農業用資材の高騰や離農・耕作放棄地の増加が危惧される中、後継者の育成特に若い担い手の確保する必要がある。近年、農業がもたらす環境負荷への懸念や消費者の意識の高まりからオーガニック加工食品市場の拡大が見込まれ、需要に応じた農産物の生産により農業所得の向上と担い手の確保につなげていく必要がある。

成果目標

- 有機農業拡大面積（水稻） 0ha（R4）→10ha（R10）
- 有機販売量拡大（水稻） 0t（R4）→35t（R10）
- 有機農業者数（水稻） 0人（R4）→6人（R10）

取組の内容

調達

- 堆肥等有機資材の供給体制の整備
- ・地域資源を活用した堆肥の開発と効果検証

生産

- 有機農業に関するスキルアップ
- ・有機資材や温湯消毒技術、抑草技術の実証、講習会の開催

流通

- 品質の高い有機農産物の集荷体制の構築

消費

- 有機農産物の安定した販売価格と販売ルートの構築
 - ・高付加価値化に資する検査等の実証、消費者意識調査、PR活動
- これらを踏まえた、検討会の開催、有機農業実施計画の策定



珠洲市

構 成 員

珠洲市、SUZU合同会社、瀬法司農園、こうぼうアグリ、浦野農園、ベジュール、AMトレーディング

品 目

水稻



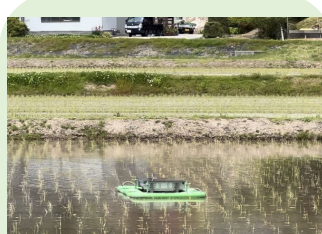
農薬を使わない抑草技術の検証

取組時期

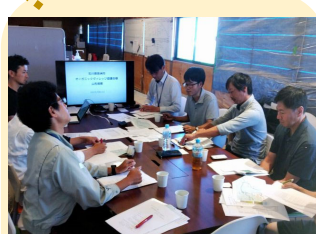
4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



引退競走馬事業との連携



有機肥料の施用や農薬を使わない抑草技術の検証



生産検討会・流通検討会



消費者の意識調査と普及促進活動

普及に向けた取組

これまでの生産検討会における栽培方法の検討や有機農業の先進地視察で得た情報をもとに栽培技術の向上と収量の底上げを図る。また、有機農業の拡大を図るためには、有機栽培にかかるコストを価格転嫁し、担い手にとっても持続可能な農業モデルを形成するため、価格について県内外の有機農産物を取り扱う流通事業者と連携を図るとともに、有機米について消費者の理解促進を図る。

問い合わせ先

珠洲市産業振興課 農林水産振興係 TEL：0768-82-7767